



エルモ
小河内地域づくり広報誌LMO

小河内便り

第1号(令和6年9月)

発行 小河内コミュニティ推進協議会(LMO) 会長 鈴木師正
編集 小河内コミ協 LMO 広報編集委員会
広島市安佐北区安佐町小河内 4579-3 小河内集会所
電話 (082)205-8282
ホームページ <https://ogauchi1171.com/>



小河内の初秋、上三根「てらます」から本郷方面を望む、右奥の山は小河内の最高峰滝山(692m)

小河内地域づくり広報誌 LMO『小河内便り』発行に当たり挨拶

小河内コミュニティ推進協議会(LMO) 会長 鈴木師正

小河内コミ協(LMO)の広報誌(小河内便り)の発行に当たりまして、発足の趣旨と今後の展望を簡単に申し上げます。

今回、当小河内地区は、ひろしま LMO(エルモ)を申請し認定されました。

このことは、本来、本地区に既に存在する小河内地区コミュニティ推進協議会の発展・拡大を図るということです。各団体が単独・独自で諸イベントを催すのではなくて、共同・合同で実施してより有効にすることです。また、伝統芸能を復活させることも検討課題となります。

平成10年より5ヵ年計画で実施されたむらづくり運動のような組織を再生させて、今後は持続可能な組織体勢にする必要があります。

昨今、失われつつある『絆』や地区民同士の助け合いの『結い』の精神が薄れつつあります。

この現象は、全国的な傾向であり、こういう状態と現状を考慮し小河内地区の情報発信と将来の小河内ビジョンを皆様と共に共有し長期的に進める手段として取り組みますのでご協力をお願い申し上げます。『行ってみたい 住んでみたい 美しいまちづくり』をめざして地区民の皆様及び関係人口(都会の田舎に興味のある人)と連携し過疎高齢化の中で前向きに進めてまいりましょう。そのための旗振り役及びツールとして広報誌による情報発信を有効活用してまいりますので宜しくお願いします。

ひろしま LMO とは

LMO:Local Management Organization(地域運営組織)の略

令和5年「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」が策定され「ひろしま LMO」が誕生しました。小河内コミュニティ推進協議会は、小河内各種団体の住民が主体となって地域課題解決に取り組んでいる団体であることが認められ、令和6年広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」に認定されました。これに伴い、当協議会は、LMO(エルモ)に移行、下記(小河内の情報、将来像共有、課題解決の企画・検討、広報)活動することになりました。尚、組織、役員に変更はありません。この特徴は

- 1, 従来、各種団体長が個別に行っていた交付金の手続きを LMO 事務局で一括で行えるようになり事務が効率的になること。
- 2, 地域課題解決事業費や組織運営経費(人件費、活動拠点維持費等)が助成されること。
- 3, LMO 専任事務局長が配置されること。

地域の情報共有

地域課題の解決に向けた企画・検討

地域の将来像の共有

地域住民への広報

コミュニティ推進協議会 (移行)令和6. 3. 17 ⇒ 小河内コミ協(エルモ)

(会長) 鈴木 師正

(会長) 鈴木 師正

(副会長) 前寺哲信、竹川均、

(副会長) 前寺哲信、竹川均、

大場清司、寺木幸典

大場清司、寺木幸典

(事務局) 首藤龍磨、小田明盛

(事務局長) 別木伸行

(事務局) 首藤龍磨、小田明盛

LMO 構成団体 (2024年4月時点)

団体名	団体名
小河内自治会連合会	NPO 法人小河内 O プロジェクト
小河内地区自主防災会	安佐北区消防団小河内分団
小河内地区社会福祉協議会	安佐北区安全協会小河内支部
小河内民生児童委員	安佐商工会小河内支部
小河内女性会	おがうち. COM
小河内寿永会	小河内昭和劇団
小河内地区体育協会	てらます

小河内の近況～高齢化、過疎化が著しい

最近の小河内の世帯数と人口の推移（表1）と年齢別人口（表2）

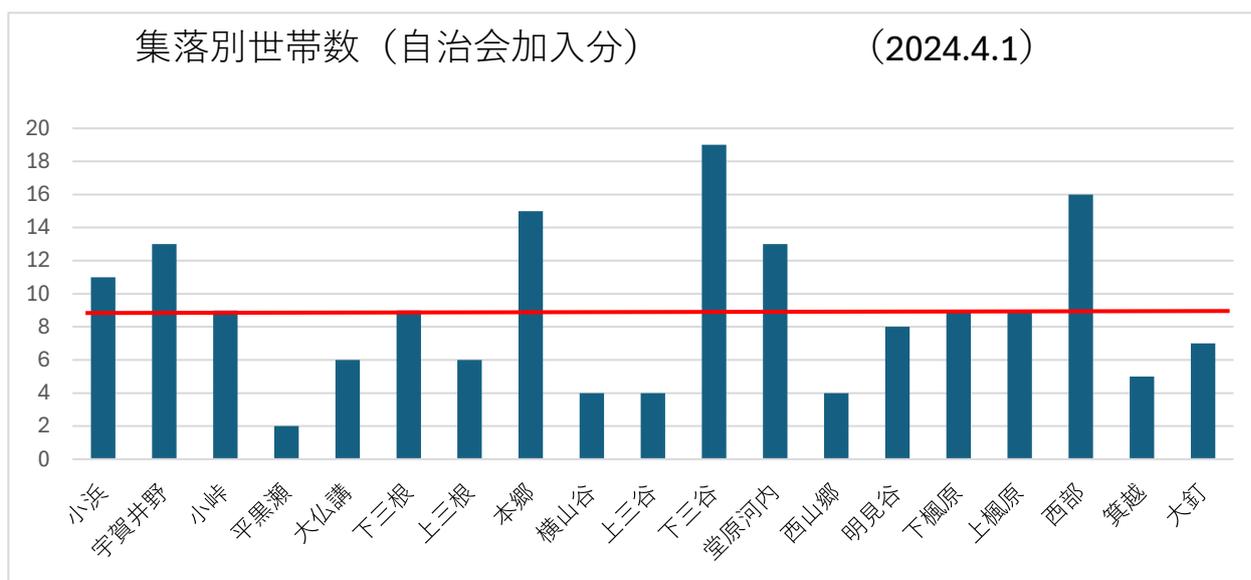
少子、高齢化の時代潮流で日本の総人口が20年前（2004年）に減少に転じ、東京への一極集中が続く、地方の人口は軒並み減少（自然減、転出増加）、特に中山間地は高齢化、人口減少で過疎化が著しく消滅の危機に瀕している。当小河内地区は戦前27あった集落が今は19に。13の集落が9世帯以下（全体の約68%を占める）

集落は生活の基礎基盤、この弱体化は自治機能の消滅、生活上の死（安心して住むところなくなる）を意味する。

この5年間、小河内の1年間平均世帯数は、約6世帯減、人口は約15人減。この数字をもとに、単純に10年後を推計すると、世帯数は167世帯、人口261人となり1世帯平均1.6人となる。

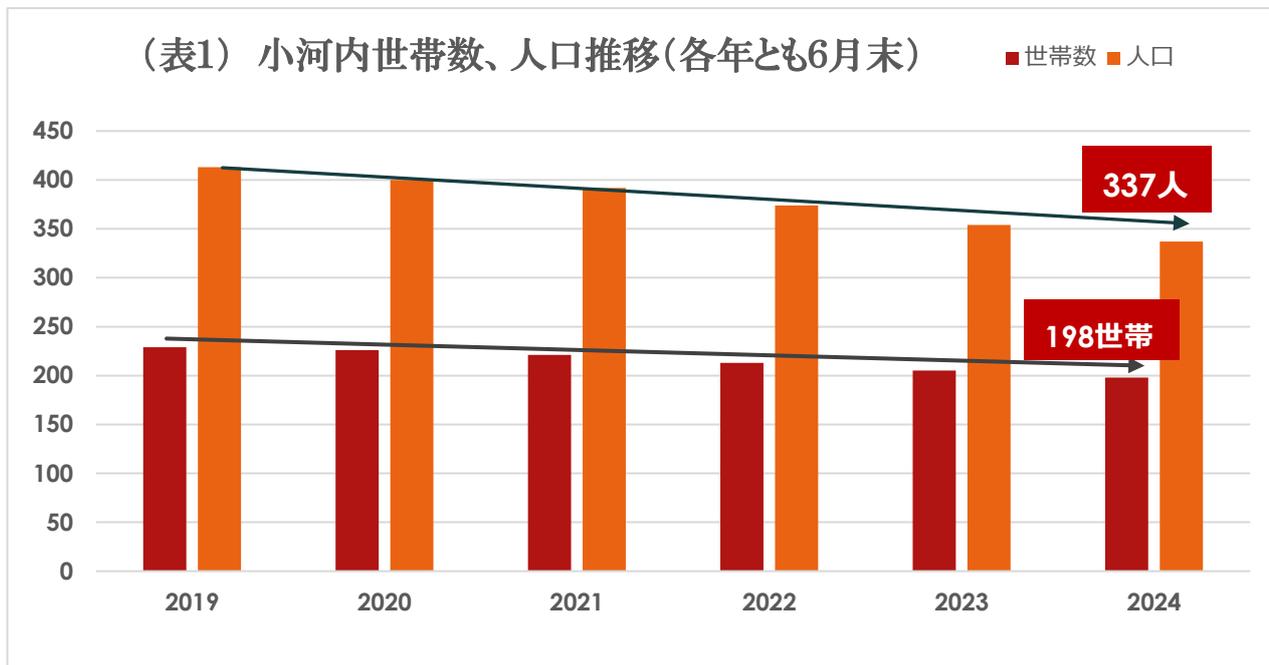
実際は坂道を転ぶ時（高齢率63.5%、過疎が過疎を呼ぶなど）は加速がつくので、これを上回るだろう。更に人口減、過疎化が進み、地区全体が弱体化、自治機能消滅が危惧される。

しかし私達に逃げ場はない。今ある豊かな自然、素朴な暮らし、歴史・文化などの資源を生かし、知恵を絞り、協力し、外部の力（都市住民との交流や関係人口を増やし）を借りて小河内の存続、維持、そして活性化を図る、これがLMOの意図、趣旨であろう。

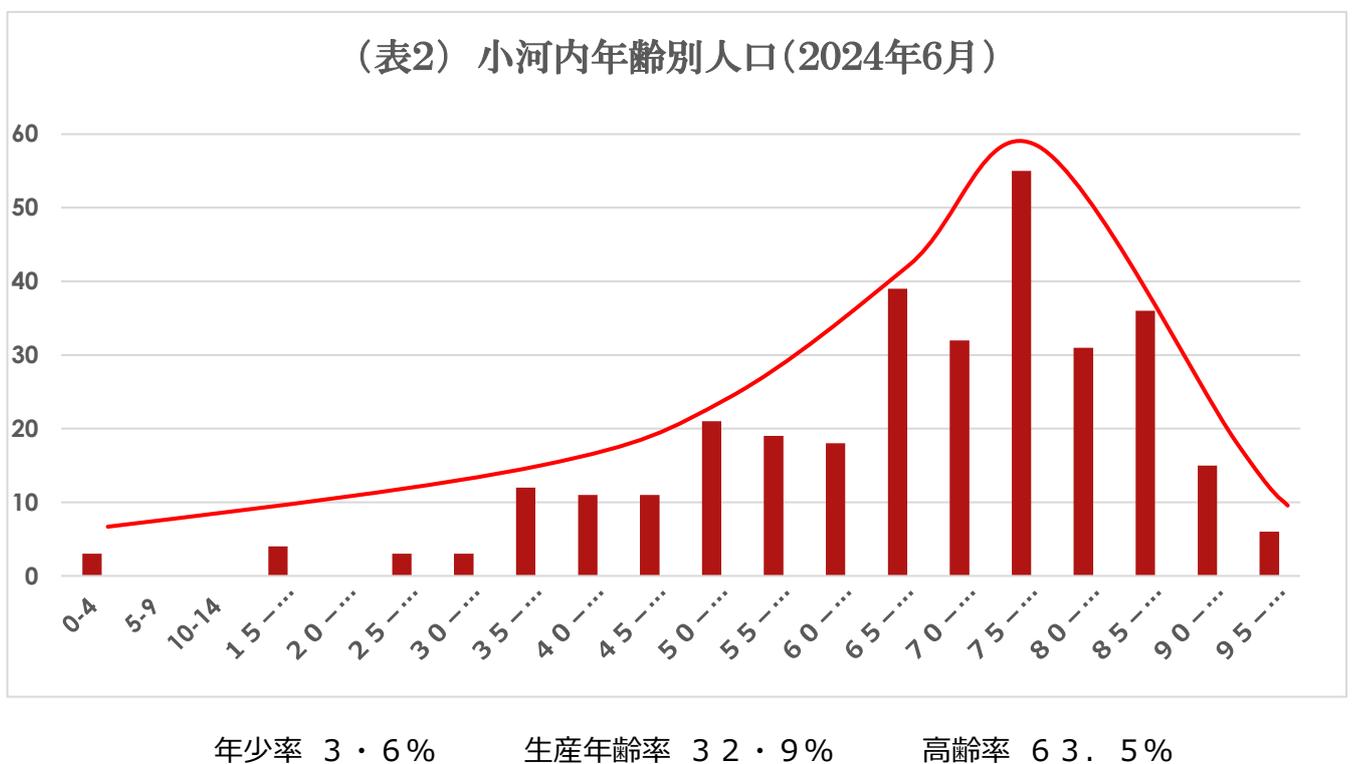


最近の小河内の世帯数と人口の推移（表1）と年齢別人口（表2）は次の通り

広島市 HP から（迫田作成）



この5年間に31世帯減少（年平均6.2世帯減）、76人減少（年平均15.2人減）



LMO 構成団体活動状況紹介

(令和6年6月～9月)

小河内のLMO構成団体の紹介や活動状況を報告します。

小河内コミュニティ推進協議会(LMO)

活動内容

地区14団体で構成、住民主体で地区全体の課題の解決や活性化に向けての行事や活動、この指導、連絡、調整を行う。

住民主体の活動を行うこの組織をLMOと言う。

役員(会長)鈴木師正、

(副会長)前寺哲信、竹川均、

大場清司、寺木幸典

(LMO事務局長)別木伸行

(事務局)首藤龍磨、小田明盛

(1)どろ落とし祭り(LMO主催)



6月2日(日) 旧小河内小学校体館

コロナ禍で中断していたどろ落とし祭りが6年ぶりに開催され住民約200人が参加した。

(2)敬老会(LMO主催)

9月15日(日)75歳以上(対象者 147名)の高齢者が招かれ、55人が参加した。



参加者の声(アンケートより)

- ・お弁当に満足した 良かった。
 - ・岸さん(気象予報士)の講演は、雰囲気盛り上げ良かった。反面少し長かった印象。
 - ・可部高校の神楽が良かった。
- 神楽甲子園の出場をめざしてがんばれ！
- ・配車は良かった、助かった。
 - ・スタッフの準備や当日のおもてなしに感謝。

小河内自治会連合会

活動内容

19の集落の自治会長で構成、地区内の様々な課題、解決について行政との定例会を開催。また、コミ協の中核団体で他の団体と一緒に行事を行い調整する。

役員(会長)鈴木師正

(副会長)大場清司、寺木幸典

(事務局長)首藤龍磨

(副事務局長)小田明盛

小河内地区自主防災会

活動内容 大規模災害における生活避難場所の円滑な運営など

役員 (本部長) 鈴木師正

(副本部長) 大場清司、寺木幸典

小河内社会福祉協議会

活動内容 小河内地区民の福祉政策、高齢者、障害者、一人暮らし者の見守り、サロン運営、配食等。

役員 (会長) 中川徹也

(副会長) 河内義行、寺木幸典、岡田和子

(事務局長) 道西義夫

(1)一人暮らしの集い 7月24日(水)

どんぐり壮で開催、34名参加(対象者22名、スタッフ12名、社協役員、民生委員)

美味しい料理をいただきながら歓談、ビンゴゲームで楽しいひと時を過ごした。



尚、一人暮らし対象者は38名である。

(2)シニアクラブ

(代表) 渡辺稔彦

第4火曜日、小河内集会所で開催

(3)うしづの会

1人暮らしの配食のお弁当作りなど

1989年発足(活動36年継続)

(代表) 下本静恵 会員9名

(4)まんぷく会

いきいき百歳体操、お食事会(毎月第3火曜日)

会員数7名、小河内集会所まで行けない

(万福寺へは歩いて行ける)周辺の高齢者、

平均年齢90歳近い **世話人** 前寺里美



(5)三根すみれグループ

代表 岡田和子 会場 岡田邸

毎週月曜日近隣の高齢者が集まり健康体操を行い、おしゃべりをする。

会員10名〈最高齢96歳〉

民生児童委員

活動内容 包括センターと連携を取り地域住民の困りごと相談、見守り等の活動を行う。

委員 河内義行(地区連絡員)、前寺里美、

鈴木美樹枝、鈴木聖治、竹川早苗

小河内寿永会 役員(会長) 竹川均

(副会長) 道西義夫 植田義徳
中村房夫

活動内容 会員数 98名(65歳以上)

(1)物故者追悼法要 (安楽寺にて)

7月3日(水) 物故者 5名 参加者30名



法要後の安楽寺住職の法話

(2)いきいき百歳体操



健康づくりのため、毎週金曜日の午前、小河内集会所で実施。20人程度が参加。

小河内女性会 役員(会長) 岡田和子

(副会長) 鈴川順子 前寺里美
(会計) 竹川早苗 (書記) 首藤一美

会員数 53名 女性の集まり
安佐公民館まつりにお寿司を出品。

(1)園芸教室 7月19日(金) 38名参加



(2)日帰り研修旅行 8月19日(月) 22人参加



会員の親睦と結束を強める目的で行った。

小河内学区体育協会 役員

(会長) 前寺哲信 (副会長) 玉田裕司

中野英治 (会計) 山田久子

(事務局) 道原節子

活動内容 スポーツを通じて住民の体力増進と、地域の連帯感を養う。



焼きそば販売(どろ落とし祭会場にて)

(1)地区民グランドゴルフ大会(春・秋)

旧小河内小学校校庭にて開催

(2)歩こう会(10月14日 スポーツの日)

岩国城ハイキング

NPO法人小河内0プロジェクト

役員 (理事長)安福孝昭

(副理事長)鈴木師正

(事務局長)中野英治 (理事監事 14名)

活動内容 小河内の活性化のため、2011年設立。会員数163。都市住民との交流(田舎暮らし体験塾や農業体験等)、農地、農業支援、空き家対策、炭焼き等の事業を行ってきたが、近年はドローンによる共同防除、草刈り隊を主にやっている。

(1)ドローンによる共同防除



実施期間 (7月17日~8月21日)面積14・5町、作業人員数 延べ80人

チームおがうち(ドローンライセンス所有者)

鈴木師正 小田明盛 寺木幸典 大場清司

別木伸行 迫本健一 菅健一

(2)かる一ぞ隊 (草刈りのチーム)

近年の猛暑は草刈りをする高齢者にとって大変な体の負担になります。空き家の増加も、草刈り放棄地増加の原因のひとつです。かる一ぞ隊は地域住民で結成した草刈り派遣のメンバーです。地区内の休耕田や家周りの草刈りを希望される方はぜひお声がけください。

草刈りのご依頼お受けいたします！



かる一ぞ隊(メンバー募集中！)

鈴木師正 大場清司 寺木幸典 別木伸行
首藤龍磨 小田明盛 鈴木聖治 (地元)
大睦裕之 山縣慶猛 (外部協力者)

(3)炭焼き、弥太郎君

炭焼きは小河内では古くから行われてきました。生活様式の変化で、炭はあまり利用されなくなりましたが、炭焼きの技術は今に至るまで引き継がれてきました。

炭焼きチーム

原本幸 安福孝昭 道原巖 山野政治
別木伸行 鈴木聖治 大場清司

炭焼きのすべての工程は小河内で地元の方によって行われます。近年、山林整備は自然災害の防止にも繋がるといわれています。



そごうデパート地域特産市場に出店

おがうち.COM (代表) 寺本佳史

活動内容 旧小河内子供会のメンバーに有志が
加わり野菜づくりや地域イベント等に参画し活動



おがうちドットコム野菜畑(堂原河内)



どろ落とし祭でうどんや飲食物を販売

てらます **役員** 代表(管理者) 石川華奈

活動内容 お弁当作り(毎月第一水曜日)、
お菓子作り(毎月第四日曜日)
お菓子と喫茶とランチを提供
お弁当は注文にて毎月80~100食を準備



お弁当作りメンバー

岡田和子、道原節子、寺本公子、山口幸子、
大場満江、武田正子、佐々木成子

安佐北区小河内消防団小河内分団

(分団長) 佐々木秀治

安佐北区安全協会小河内支部

(支部長) 大本一則

安佐商工会小河内支部

(支部長) 増田峰太郎

小河内昭和劇団

(座長) 山縣修

コミ協以外で活動している団体、 グループ紹介

(1) 高齢者交流クラブ

小河内快老クラブ(グラウンドゴルフ

同好会) (会長) 佐々木英孝

活動内容 健康づくりと親睦、仲間づくりのため、グラウンドゴルフを毎週4回の練習の他、年2回遠征大会を行う。会員数 23名。春の遠征グラウンド大会は6月19日、湯来温泉で行われ、23人参加。



記念撮影(湯来温泉玄関前)

(2) 地区清掃、草刈り、美化活動

集落ごとに草刈りや清掃活動を行っている



草刈り後の市道

(3) 一般社団法人 さくらブリッジ

(代表理事) 黒田泰弘

(理事) 前田秀雄、湯上みどり

空き家問題 (ごみ問題、相続、登記等の相談)

(4) 小河内探検隊TEVENT

数名の都市住民が小河内の自然を楽しみながら、農園で自家用の野菜を作り、農を喜び、楽しく活動している。

新しい地域づくりのご提案～『地域住民の誰もが笑顔で住みやすい地域づくり』をスローガンに
 生きがい・たまりの場、活力のある地域をめざして これからの小河内のまちづくりのために
 皆様のご協力なしでは成し遂げられません。地域の魅力作りに、皆様のパワーをお分けください。
 今始めよう！ 地域づくりを 共同労働で

《募集》 下記メンバーを募集しています。希望される方はLMO事務局にご連絡下さい。

- ・ かるーぞ隊 メンバー(住民の依頼による道端や耕作放棄地などの草刈り)
- ・ 炭焼きチーム メンバー (原木切り出し、炭焼き、窯出し、製品化など)
- ・ 昭和劇団 (伝統ある村芝居、演者、スタッフ)

編集後記

今般小河内に、LMO組織発足に伴い、地域づくり広報誌(小河内便り)を発行(当面年2回)することになりました。この田舎、小河内でもテレビやネットで世界のニュース、情報は即座に知ることができますが、足元のことは案外知らないことが多いものです。私たちが住むこの小河内のこと(小河内の自然・歴史・文化・暮らし、団体の活動や課題等)を知り、それらの情報を皆で共有することが必要です。そのため今号はLMO構成団体の活動内容や、その世話人(役員や代表者)を特集しました。こうした情報を地区住民全員が共有することで、小河内の一体感や絆が高まり将来像模索に繋がることを期待しております。小河内の行事や自然、暮らし、歴史、文化などの情報等をお知らせください。ご支援を賜りますようお願いいたします。

秋の農繁期も峠を越し、今年11月3日(日)、養山八幡神社秋祭り、200年余の歴史ある吹噓子行事が行われます。以前は前夜祭の昭和劇団の素人が演じる芝居が楽しみでした。この復活も課題です。小河内には吹き噓子行事、昭和劇団、紙芝居、牛頭城、殿之城霊神社等、多くの歴史、文化遺産があります。次号(第2号3月発行)はこの宝も取材したいと思っています。(S)

LMO 広報誌編集委員名簿

	所属	名前		所属	名前
委員長	〇プロ	迫田 勲	委員	民生児童委員	河内義行
副委員長	事務局	別木伸行	委員	女性会	岡田和子
委員	コミ協	寺木幸典	委員	寿永会	中村房夫
委員	自治会連合会	鈴木師正	委員	体協	前寺哲信
委員	社協	中川徹也			

私たちが編集しました！